

●車いす各部の名称



- ① バックレスト : 背もたれ
- ② ハンドグリップ : 介助者が握る部分
※車いすによっては、本体のブレーキとは別に、ハンドブレーキがここについている。
- ③ 駆動輪 (タイヤ) : 中心にある大きな車輪
- ④ ハンドリム : 本人が車輪を動かすときにこぐ部分
- ⑤ ティッピングレバー : 介助者が前輪を上げるときに踏む部分
- ⑥ ブレーキ : タイヤを固定する
※図はレバー式。他の方式のブレーキもある。(トグル式など)
- ⑦ 前輪 (キャスター) : 車いすの安定と方向変換を容易にする
- ⑧ フットレスト : 足を乗せる部分
- ⑨ レッグレスト : 足が後ろに落ちるのを防ぐ
- ⑩ シート : 座席
- ⑪ アームレスト : ひじに乗せる部分



●車いすの広げ方

※指がシートからはみ出さないように注意！
指を挟んでケガをするおそれがあります。



① 本体のブレーキをかけ、アームレストを持って外側に少し開く。



② 両手の手のひらでシートを下に押し下げるようにして広げる。



③ シートを完全に下まで押し広げる。
※指挟みに注意

●車いすのたたみ方

イラスト©written by 垂梨沙



① 本体のブレーキをかけ、フットレストを上げる。



② 真ん中をつまむようにしてシートを持ち上げる。



③ 車いすを完全に折りたたむ。

●出発前の確認



- 【移乗前】
- ・ブレーキはかかっていますか？
 - ・タイヤの空気は入っていますか？
- 【移乗後】
- ・腕はアームレストの中に入っていますか？
 - ・洋服の裾などが垂れていませんか？
 - ・足はフットレストに乗っていますか？
 - ・車いすに乗る人の体調を確認しましたか？

●出発するとき



それでは、出発しましょう。

- ① 片手でハンドグリップを握ったまま、左右両方のレバーを前に倒してブレーキを解除する。
- ② ハンドグリップを両手でしっかりと握り、声をかけてからゆっくりと車いすを押し出す。

●車いすを降りるとき



- ① 片手でハンドグリップを握ったまま、もう片方の手で左右両方のレバーを後ろに引いてブレーキをかける。
- ② フットレストを上げてから車いすを降りる。

※フットレストの上に立ち上がると危険です。

●上り坂では



上り坂では、体を前に傾けるようにして進む。

●下り坂では



下り坂は、後ろ向きで下るのが基本です。

後ろに注意しながら、車いすを支えるようにゆっくりと下る。軽くハンドブレーキをかけながらでもよい。



※ゆるやかな下り坂の場合※

傾斜がゆるやかな場合は、前向きで下りてもよい。スピードが出ないように、車いすを介助者側に引くようにして下りる。

●段差を上がる時

段差を上がります。

※車いすは段差に対して正面向き



① 声をかけ、ティッピングレバーを片足で踏みながらハンドグリップを押し下げて、前輪を上げる。



② バランスを保ちながら車いすを前に進め、前輪をゆっくりと段差に乗せる。



③ 駆動輪を段差につけてから、押し上げる。

●段差を下るとき

段差を下ります。

※車いすは段差に対して後ろ向き



① 声をかけ、車いすを段差に対して後ろ向きにする。



② 駆動輪を段差の下にゆっくりと下ろす。



③ ティッピングレバーを片足で踏み、前輪を軽く浮かせる。ゆっくりと後ろに下がる。



④ 前輪を段差の下にゆっくりと下ろす。

●車いす介助時の注意点

介助をする人(車いすを押す人)は、
★出かける前や移乗などの動作が終わったところで、
乗っている人の気分や体調を確認しましょう。

★動作のたびに、乗っている人へ声かけをしましょう。

★車いすに乗っている人は目線が低いため、スピードを
速く感じやすいです。周りの環境に注意しながらゆっくり
と押しましょう。

★車いすから離れるときやハンドグリップから手を離すと
きは、短時間であっても、必ず左右両方のブレーキをか
けましょう。

★介助が難しいと感じたときは、無理をせず周りの人に
協力を求めましょう。

〈誤った使い方だけがをしそうになった例〉

◆移動時にフットレストに足をのせ忘れ、引きずりそうに
なった。

→骨折の危険につながります。動く前に足元の確認、
声かけをしましょう。

◆車いすから降りる時フットレストを上げ忘れ、乗ってい
る人がそのまま立ち上がり転倒しそうになった。
→フットレストの狭い面積にすべてが加重し、かなりの
勢いがついて前に転倒してしまいます。立ち上がる時は、
フットレストから足を下したことを確認してください。物を
取ろうと体を前のめりにするときも転倒しやすいです。

●車いす取り扱いの注意点

★外で保管する場合、濡れない場所で保管してくださ
い。雨などに濡れると故障の原因になります。

★車などで運ぶ場合、車いすを横に倒し積み重ねるこ
とはしないでください。フレームが歪み、ブレーキの故
障などの原因になります。

●車いすの種類

使う人や目的に応じて様々なタイプ・機能の車いすがあります。

自操式車いす

自分で操作することもでき、また介助
者に押してもらい使うこともできます。



介助式車いす

自分では操作せずに、介助者に押し
てもらうタイプです。



リクライニング車いす

背もたれの角度が調整できる車いす
です。



他には、子ども用サイズの車いす、電動式車いすや競技用車
いすなどがあります。

知っていますか？障がい者に関するマーク

国際シンボルマーク



障がいのある方が利用し
やすい建物やトイレ、駐
車場などについています。

身体障害者マーク



肢体不自由の方が
運転している車であ
ることを示します。

オストメイトマーク



オストメイト(人工肛門・
人工膀胱)に対応したト
イレなどを示します。

ほじょ犬マーク



補助犬(盲導犬、介助
犬、聴導犬)啓発のた
めのマークです。

ヘルプマーク



外見から分からなくても援助
や配慮を必要としている方々
が、周囲の方に配慮を必要と
していることを知らせるため
のマークです。

ハートプラスマーク



内部障がいがあることを
示すためのマークです。



藤沢市社会福祉協議会マスコットキャラクター
たーすけくん・あいちゃん

このリーフレットは、車いすをはじめ
て使う方や、取り扱いに慣れていない方
に向けて、車いすの構造や基本的な介
助方法をまとめたものです。

車いすを利用している方と介助する
方がともに安心して、安全に車いす
を利用するための参考になれば幸いです。

編集・発行

2023年9月

社会福祉法人 藤沢市社会福祉協議会

〒251-0054 藤沢市朝日町1-1藤沢市役所分庁舎1階・2階

開所日:(月)~(金) 9:00~20:00

(土)(日)(祝) 9:00~17:00

毎月第3(日)および12月29日~1月3日は休所

地域福祉課 TEL:0466-26-9863

FAX:0466-50-3671

ホームページアドレス

<http://www.fujisawa-shakyo.jp/>



(参考)神奈川県ホームページ「車いすの介助方法について」
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/f5075/p15108.html>